

## 2014年度秋季研究発表会のご案内

### 1. 2014年度秋季研究発表会のご案内

日本マス・コミュニケーション学会 2014年度秋季研究発表会を別記の通り開催いたしますので、ご参集のほどお願い申し上げます。

	2014年9月9日
日本マス・コミュニケーション学会会長	谷藤悦史
同 企画委員長	小林直毅
同 企画副委員長	福間良明
同 企画副委員長	吉見俊哉

### 2. 2014年度秋季研究発表会プログラム

**※「会報」第278号に掲載したプログラムから変更になっている箇所があります。**

期 日：2014年11月8日（土）

会 場：東洋大学白山校舎

〒112-8606 東京都文京区白山5-28-20

TEL 03-3945-7224 (代表)

<http://www.toyo.ac.jp/>

研究発表会本部：6号館1階第3会議室

会員休憩室：6号館3階6312教室

連絡先：大谷奈緒子研究室（社会学部メディア・コミュニケーション学科）

TEL 03-3945-7391（大谷研究室直通）

研究室不在の場合 03-3945-7176（社会学部事務室）

Email otani705@toyo.jp

#### ●研究発表論文集（発表予稿集）のオンライン公開について

個人・共同研究発表の発表論文（予稿）の公開サイトは<http://mass-ronbun.seesaa.net/>です（日本マス・コミュニケーション学会のホームページ<http://www.jmscom.org/>からもリンクが貼られています）。2014年度秋季研究発表会の研究発表論文は11月1日（土）から上記サイトで公開の予定です。

※登壇者の所属については、個人・共同研究発表、ワークショップ・テーマ案の応募書類に記載されたものをそのまま掲載しました。

11月8日(土)

9:00 受付開始（6号館3階）

10:00 開 会

<午前の部>

10:00～12:00 個人・共同研究発表

#### A会場（6号館6201教室）

司会者：烏谷昌幸（武蔵野大学）

10:00～10:30 報道の多様性に関する理論的検討と分析方法の考察

千葉 涼（早稲田大学大学院 院生）

10:30～11:00 中国のニューメディアに関する考察

— 『人民日報』の記事を中心に—

- 沈 霄虹 (上智大学大学院 院生)  
 11:00~11:30 マイノリティ表象をめぐる知識社会的アプローチ  
 —アーティキュレーション概念の再検討—  
 新嶋良恵 (慶應義塾大学大学院 院生)

### B会場 (6号館6202教室)

- 司会者：辻 泉 (中央大学)  
 10:00~10:30 青年層の「ニュース離れ」に関する事例分析  
 —大学生のメディア接触調査から—  
 山崎 晶 (四国学院大学)  
 10:30~11:00 小集団における放射線リスク情報の受容過程に関する実証的研究  
 —主婦を対象としたグループ・インタビューから—  
 柳瀬 公 (東洋大学)  
 11:00~11:30 オタクを作る資本とは  
 —量的調査と分析から見えるもの—  
 板倉享平 (立命館大学大学院 研修  
 生)  
 11:30~12:00 インターネット利用行動と交友ネットワーク・一般的信頼・情報ハンドリ  
 ング力との関係  
 戸田里和 (上智大学大学院 院生)

### C会場 (6号館6204教室)

- 司会者：吉田則昭 (立教大学)  
 10:00~10:30 アジア・太平洋戦争期における宣伝と広告業界  
 —日本宣伝文化協会の活動を中心に—  
 中嶋晋平 (大阪市立大学大学院 研究員)  
 10:30~11:00 『大本営記者日記』に見る翼賛報道の隠微な構図  
 —日本のマス・メディアの変わらぬ体質を示す「自己規制」の系譜—  
 上出義樹 (上智大学大学院 院生)  
 11:00~11:30 インターネットによる中国マスメディアの変革に関する考察  
 —温州高速鉄道衝突事故を事例に—  
 孫 曉梅 (立命館大学大学院 院生)  
 11:30~12:00 中国社会における二つの輿論の乖離と統合  
 —ロンドン五輪をめぐる中国メディアの言説を事例として—  
 宋 愛 (慶應義塾大学大学院 院生)

### D会場 (6号館6209教室)

司会者：山口 仁 (帝京大学)

『会報』第278号掲載の「2014年度秋季研究発表会プログラム」でご案内した金秀那会員の研究発表は、ご本人のやむを得ない事情により中止となりました。なお、発表時間の繰り上げはございません。

- 10:30~11:00 地球温暖化関連報道に見るメディア・アテンションの変遷  
 —1980年代~1999年までの新聞報道の分析から—  
 永井健太郎 (早稲田大学大学院 院生)  
 11:00~11:30 日中関係におけるテレビ番組の役割に関する一考察  
 —『岩松が日本を見る(岩松看日本)』の分析を例に—  
 丁 偉偉 (同志社大学大学院 院生)

## E会場（6号館6217教室）

司会者：長 広美（東洋大学）

10:00～10:30 大学付属教育放送局から公共放送組織へ

—Frieda Hennock・Ford Foundation・Carnegie Commission が果たした役割—  
志柿浩一郎（東北大学大学院 研究員）

10:30～11:00 ローカルテレビ局の放送理念確立に向けた取り組み

—東海テレビ「セシウム事件」再生活動から—

磯野正典（金城学院大学）

11:00～11:40 視聴質調査における評価尺度の開発

○石山玲子（武蔵大学）

○黄 允一（フェリス女学院大学）

岩崎貞明（メディア総合研究所）

小玉美意子（武蔵大学）

戸田桂大（武蔵大学）

中條 浩（株式会社ラビネット）

藤井達也（武蔵大学大学院 院生）

山下玲子（武蔵大学）

## F会場（5号館5104教室）

6号館 6B14 教室から変更になりました。

司会者：村上聖一（日本放送協会）

10:00～10:30 NHK 朝の連続テレビ小説にみる戦争描写

—2011 年以降の作品を中心に—

黄 馨儀（台湾私立文化大学）

10:30～11:00 農事番組における「農民」の表象とその変容

—NHK『明るい農村（村の記録）』の映像分析から—

○船戸修一（静岡文化芸術大学）

祐成保志（東京大学）

11:00～11:30 農事番組における「農業・農村」表象はいかに構築されたか

—NHK ディレクターと農林水産通信員との交渉過程に注目して—

○武田俊輔（滋賀県立大学）

加藤裕治（静岡文化芸術大学）

## G会場（5号館5208教室）

6号館 6B15 教室から変更になりました。

司会者：井川充雄（立教大学）

10:00～10:30 「漫画の描き方」本のメディア史

—「漫画を描く大衆」の登場—

鈴木麻記（東京大学大学院 院生）

10:30～11:00 災害記憶の維持・喚起に関する新聞報道の変化

—「風化」の用法を手がかりとして—

王 輯予（関西大学大学院 院生）

11:00～11:30 明治百年祭（1968 年）と「京都」イメージの確立

トパチョール・ハサン（京都大学大学院 院生）

11:30～12:00 PR 映画が描いた「原子力平和利用」

—1950 年代から 60 年代前半を中心に—

瀬尾華子（東京大学大学院 院生）

<昼の部>

12:10～12:40 会長・開催校挨拶（6号館6210教室）

12:50～14:00 理事会（5号館5102教室／昼食を用意します）

6号館 6213 教室から変更になりました。

ワークショップ打ち合わせ（各ワークショップ会場／昼食を用意します）  
昼食について  
大学内の学生食堂をご利用ください。

<午後の部>

\*ワークショップは2部制で実施します。

14:00～15:40 ワorkshop1～8

ワークショップ1 (6号館 6206 教室)

デジタルメディアのインタラクティブ性に関する考察

司会者：渋谷明子（創価大学）

問題提起者：寶 雪（慶應義塾大学）

（企画：理論研究部会）

ワークショップ2 (6号館 6207 教室)

ともにガラパゴス化する“日本型ジャーナリズム”と“日本型ジャーナリズム論”

—英米との比較を手がかりに—

司会者：小黒 純（同志社大学）

問題提起者：澤 康臣（共同通信社）

（企画：ジャーナリズム研究・教育部会）

ワークショップ3 (6号館 6214 教室)

東日本大震災以降のメディアコンテンツの展望

—NHK 朝の連続テレビ小説『あまちゃん』による地域振興に着目して—

司会者：佐伯順子（同志社大学）

問題提起者：田島悠来（同志社大学 研究員）

（企画：田島悠来会員）

ワークショップ4 (6号館 6215 教室)

雑誌メディア研究の現状

—日本の論壇雑誌を事例として—

司会者：山本昭宏（神戸市外国語大学）

問題提起者：片山慶隆（関西外国語大学）

討論者：大澤 聡（近畿大学）

（企画：メディア史研究部会）

ワークショップ5 (6号館 6216 教室)

特定秘密保護法制の構造と課題

司会者：山田隆司（創価大学）

問題提起者：韓 永學（北海学園大学）

（企画：メディア倫理法制研究部会）

ワークショップ6 (6号館 6401 教室)

地域映像アーカイブ研究と実践

—多様なアーカイブをつなぐ理論的アプローチ—

司会者：水島久光（東海大学）

問題提起者：原田健一（新潟大学）

（企画：企画委員会）

ワークショップ7 (6号館 6403 教室)

マンガ研究、ジャーナリズム研究とジェンダー研究

—ステレオタイプを手がかりにそれらの立ち位置を再考する—

司 会 者：茨木正治（東京情報大学）  
問題提起者：大倉 韻（首都大学東京大学院 院生）  
討 論 者：足立加雄（学習院大学大学院 院生）  
（企画：茨木正治会員）

ワークショップ 8（6号館 6B11 教室）

韓国におけるジャーナリズム環境の変化と代替メディアの登場  
司 会 者：金山 勉（立命館大学）  
問題提起者：元 溶鎮（西江大学）  
討 論 者：森 類臣（立命館大学）  
（企画：元 溶鎮会員）

16：00～17：40 ワークショップ 9～16

ワークショップ 9（6号館 6206 教室）

テレビとネット動画の未来図  
—映像産業／映像文化の将来を展望する—  
司 会 者：田村和人（フォアキャスト・コミュニケーションズ）  
問題提起者：川上量生（ドワンゴ）  
討 論 者：境 真良（国際大学）  
（ネットワーク社会研究部会・企画委員会特別企画）

ワークショップ 10（6号館 6207 教室）

新聞産業の現状とジャーナリズムの行方  
司 会 者：藤森 研（専修大学）  
問題提起者：榎引素夫（青森大学）  
（企画：榎引素夫会員）

ワークショップ 11（6号館 6214 教室）

各国における公共放送の統治システムの検証  
司 会 者：安齋茂樹（日本民間放送連盟）  
問題提起者：黄 盛彬（立教大学）  
討 論 者：中村美子（日本放送協会）  
（企画：放送研究部会）

ワークショップ 12（6号館 6215 教室）

2000年代以降のメディア文化をどう捉えるか？  
—青少年の音楽生活に関する実態調査をもとに—  
司 会 者：小川博司（関西大学）  
問題提起者：溝尻真也（目白大学）  
永井純一（神戸山手大学）  
討 論 者：小川豊武（東京大学大学院 院生）  
（企画：メディア文化研究部会）

ワークショップ 13（6号館 6216 教室）

有権者の政治意識・投票行動とネット選挙運動の解禁  
司 会 者：岩淵美克（日本大学）  
問題提起者：名取良太（関西大学）  
（企画委員会特別企画）

ワークショップ 14（6号館 6401 教室）

テレビが記録した「震災」「原発」の3年  
—震災関連放送アーカイブの可能性と課題—

司 会 者：加藤徹郎（法政大学）  
問題提起者：西田善行（法政大学）  
（企画：西田善行会員）

ワークショップ 15（6号館 6403 教室）

1970 年前後の少女マンガにおける「西洋」表象

司 会 者：谷本奈穂（関西大学）

問題提起者：増田のぞみ（甲南女子大学）

猪俣紀子（茨城大学）

（企画：企画委員会）

『会報』第 278 号掲載の「2014 年度秋季研究発表会プログラム」でご案内したワークショップ 16 は、やむを得ない事情により中止となりました。

18:15～20:15 懇親会(2号館 16階スカイホール)